

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

校訓「英知・至誠」に基づき、新しい時代を担う英知と、豊かな人間性・創造性・社会性を身につけた人材を育成し、地域に愛される学校

教育方針 1. 将来を支える学習指導の充実 2. 魅力ある学校生活の創造
3. 将来を支えるきめ細やかな生徒指導 4. 人権感覚豊かな人格の育成

2 中期的目標

- 1 授業改善と授業力向上に取組み、「確かな学力」を身につけ、夢を実現する力を育成する教育活動
 - (1) 組織的に授業力向上と改善に取組み「主体的、対話的で深い学び」の授業を実践し、生徒の学力を向上させる。
 - ア 「学び合い、学び続ける生徒の育成」のため、全教員で「主体的、対話的で深い学び」の授業を行う
 - イ 授業満足度の向上と、わかりやすい授業のため、全教員でICTを活用した授業を行う
 - ※ 生徒「進路実現のための学力向上満足度」を向上させる [R01;53.9% R02;60.2% R03;67.4%⇒令和6年度;67%]
 - (2) 3か年を見通した進路指導計画、生き方に関する学習機会を提供し、主体的かつ積極的に社会に参加する力を育成し、満足度の高い進路を実現する。
 - ※ 生徒、保護者「進路指導に関する項目の満足度」を向上させる [R01;80.3%、73.2% R02;78.4%、75.3% R03;80.4%、69.1%⇒令和6年度;85%、80%]
 - ※ 就職内定率 [100% 維持]
 - (3) 講習・補習・外部模試の計画的な実施と、体系的なキャリア教育の推進により、大学進学希望者の目標・夢を実現させる。
 - ※ 国公立・関関同立産近甲龍摂神追桃外 合格者数の増加する [R01;24人 R02;14人 R03;16人 ⇒令和6年度;30人]
 - (4) 英語教育の充実を図るとともに、様々な検定試験を実施し、生徒のコミュニケーション能力と進路意識の向上に取組む。
 - ア 講習、資格試験、外部行事への参加などにより、英語教育を充実させる
 - イ 英検、漢検、数検など様々な資格試験を1年次より実施し、進路意識と自己肯定感の向上に取組む。
 - ※ 英検等の外部資格の受験者数(希望者)を増加させる [英検 R01;119人 R02;101人 R03;152人⇒令和6年度;150人]
- 2 自律心を高める生徒指導と地域と連携した教育活動と魅力ある特別活動に取組み、地域・保護者に信頼される学校づくり
 - (1) 自律を促す指導を粘り強く行い、生徒の規範意識を醸成するとともに、教育相談体制や生徒支援体制の満足度を向上させる。
 - ※ 生徒「学校の規則を、きちんと守っている」を維持する [R01;89.6% R02;85.5% R03;94.6%⇒令和6年度;高い肯定率維持]
 - ※ 生徒「教育相談に関する満足度」を向上させる [R01;71.4% R02;68.7% R03;72.1%⇒令和6年度;75%]
 - (2) 生徒の自己有用感の醸成し、帰属意識を高め、安心できる人間関係の構築するため特別活動(行事、部活動等)を充実させ、学校満足度を向上する。
 - ※ 生徒「学校行事に積極的に参加している」を維持、向上させる [R01;82.7% R02;79.8% R03;88.9%⇒令和6年度;85%]
 - (3) 保護者及び地域との連携した活動を推進するとともに、学校ホームページや文書・新聞等の文書媒体により学校の情報発信を行う。
 - ※ 保護者「子どもは楽しそうに学校生活を送っている」を維持する [R01;81.5% R02;82% R03;79%⇒令和6年度;85%]
 - ※ 生徒「地域との連携の取組みを推進する生徒の参加取組み」を定着させる [R03;コロナ禍のため実施できず] [令和6年度;10回以上]
- 3 人権尊重の教育を推進するとともに、「ともに学びともに育つ」教育の実践により、すべての生徒に安全・安心な教育環境の構築
 - (1) 共生推進教室を組織的な校内体制で推進するとともに、障がいのある生徒の自立を支援する。
 - ア 共生推進教室での充実した自立活動の取組みと職場実習の実施により、生徒全員の進路実現
 - イ 障がい者理解教育研修を推進し、すべての教職員が共生推進教室の取組みに関わる
 - ※ 進路実現 [100% 維持]、教員研修の実施 [新規 R02;1回 ⇒年2回]
 - (2) 教職員の人権教育等の研修を定期的実施するとともに、生徒への人権教育を推進する。
 - ※ 教職員年3回の人権研修肯定率 [新規 R02;1回、66% R03;2回、75%⇒令和6年度;3回、70%]
 - ※ 生徒「人権等の学習機会がある」を向上させる [R01;74.7% R02;74.3% R03;80.4%⇒令和6年度;80%]
- 4 地域との連携を強め、生徒主体の学校運営を推進し学校力の向上
 - (1) 学校経営計画推進に向け各組織のリーダーのマネジメント能力の向上、学校経営に教職員が参画するPDCAサイクルを推進する。
 - ※ 教職員「学校運営に教職員の意見が反映されている」を向上させる [R01;41.0% R02;55.6% R03;58.3%⇒令和6年度 60%]
 - (2) 教職員研修の充実を図り教員の指導力を向上させる。
 - ※ 教職員「教科指導や人権研修などの校内研修は、役立っている」を向上させる [R01;50.8% R02;63% R03;66.7%⇒令和6年度 70%]
 - (3) 学校の広報と情報発信を充実する。
 - ※ 保護者「学校からの連絡文書は届いている」、「HPを見て情報を得ている」を向上させる [R01;73.8%、44.7% R02;73.5%、59.6% R03;78.5%、59.2%⇒令和6年度 80%、55%]

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年11月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>[生徒] 回収率 85% (昨年度 95%) 回収率が 10 ポイント下落したが、集計結果としては概ね数値が向上した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生は、色々な悩みやいじめなどの相談に親身になって応じてくれ、真剣に対応してくれる。(72%⇒87%) ・緑風冠高校に入学して良かったと思う。学校へ行くのが楽しい。(75%⇒83%) ・自分の希望する進路実現のために必要な学力が身につけている。 	<p>[第1回 7月 6日]</p> <p>○スクールミッション・スクールポリシーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールミッションは学校の存在意義を示すもので、1度決めたら10年間は使用する普遍的なものだと理解した。この学校の校訓をスクールミッションに取り入れることはとても理解できる。生徒や教員は校訓についてどのくらい理解しているのか。折に触れてその趣旨が浸透するよう取り組んでいただきたい。 ・学校独自の特色を打ち出すのも大切だと思うが、生徒主体の教育を考えるなら、「他校にもあるが、本校でも取り組んでいる」というものがあってもよいのではないかと。

(67%→74%)

- ・学校で火災や地震などの災害が起こった場合、避難経路など、どのような行動をとれば良いか、知らされている。(77%→88%)

「教育相談に関する満足度」が87%と高く、授業以外においても生徒が相談し、それに応じるケースが増加していると考えられる。その結果、「学校満足度」83%、「進路指導の満足度」74%と向上している。また、「昨今の自然災害など非常時における避難行動など知っている」という項目についても88%と生徒が防災について高い意識を持っていることが伺える。

〔保護者〕回収率21%（昨年度61%）

ほとんどの項目で昨年度の調査と比較して肯定的意見の割合が上がっている。

- ・学校の雰囲気がよく、子どもは楽しそうに学校生活を送っている。

(79%→87%)

- ・子どもは授業はわかりやすいと言っている (58%→73%)
- ・学校の生徒指導の方針に、共感できる。(66%→83%)
- ・学校は、将来の進路や職業などについて必要な情報を提供し、適切な指導を行っている。(69%→84%)
- ・学校は、心身の健康、友人関係、いじめなどの悩みに、親身になって応じ、真剣に対応してくれる。将来の進路や職業などについて必要な情報を提供し、適切な指導を行っている。(68%→82%)
- ・学校は、生徒の人権を尊重する意識を育て、社会ルールを守る態度を養おうとしている。(74%→87%)
- ・学校は、懇談や連絡文書などを通じて家庭との意思疎通を十分に行っている。(70%→87%)
- ・学校は、保護者の相談に適切に応じてくれている。(71%→87%)
- ・台風や地震などの対応について、生徒や保護者に安否確認の連絡方法が知らされている。(65%→84%)

ただ、回収率が大幅に下がっており、否定的な意見を持つ保護者がアンケートに参加していないことも考えられる。回収率が下がった原因としては、昨年まではアンケートを紙で配付、記入後回収していたが、今年はオンラインのみとしたことによるものと思われる。すべての保護者にフォーム作成ツールで回答できるようQRコードを記載したプリントを配付し回答をお願いし、かつ学習支援クラウドサービスにアカウント登録している保護者にはサービスを通じてオンラインでも回答をお願いしたが、紙からデジタルへの移行が思うようには進まなかったことが原因と考えられる。ICT化を進めながら回収率を上げるための取組みが急務である。

〔教職員〕回収率98%（昨年度94%）

設問17「職員会議に至る各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している」。肯定的意見47.9%（昨年度52.1%）について、早急に改善が望まれる。値が昨年より下がり、5割を切っている。職員会議が協議の場ではなく、決定した事柄の連絡・報告や説明の場となったので、そこに至るまでの会議が情報交換と課題検討の場としてうまく機能していなければならない。どの会議においても項目が多岐に渡り、意見を出しあう時間が十分に取れないのかも知れないが、「個々に確認すれば済む事柄には会議の時間を使わない」、「会議は意見を出し合って検討する場である」という意識を一人ひとりが持つことにより改善していきたい。事前および会議後の資料確認等に関しては学習支援クラウドサービスを積極的に活用していきたい。活用際にはサービスで流されているものを毎日（朝、昼、夕方）チェックすることを習慣化する必要がある。

- ・スクールポリシーへと繋がる部分について、どの部分が学校経営計画のどの部分に結びついているかわかりやすくする必要がある。検討を進めていただきたい。

- ・「スクールミッション・スクールポリシー」については、可能な限りシンプルなものが多い。

○学校運営について

- ・以前、卒業生が在校生に話をするという取り組みがあったが、可能ならそのような取り組みを継続していただきたい。外に出た人が感じる緑風冠高校の話聞く機会を大切にしてほしい。

- ・緑風冠高校を卒業して入社してきた生徒はしっかり挨拶ができる。素晴らしいことだと思っている。

- ・緑風冠高校では頭ごなしに叱られた記憶はなく、何でも納得のいくまで話してもらったと、緑風冠高校出身の複数の学生が高校生活の思い出として語っていた。今後も生徒への丁寧な指導を続けてほしい。

〔第2回 11月 25日〕

○キャリア教育について

- ・高大連携による講座について、9講座開設予定で1講座しか開講できなかったとのことだが、生徒の側からの希望を聞いて講座を開いたりするなどして、生徒がより魅力を感じる内容にする必要があるのではないかと。

- ・どのような探究活動をするか、というのは学校の特色につながるのではないかと。高大連携と合わせて行えばより広がりを持つと考える。

- ・最近の緑風冠高校では学習に困難を感じる生徒に対し個別に丁寧に対応し授業についてこれるようにしていると聞いた。

○広報活動について

- ・地元以外の人たちには緑風冠高校のことがあまり知られていないようだ。

- ・テレビで緑風冠高校で行われている授業について取り上げられて放送されたが、本校の保護者でもそのことを知らない人がいる。良いことの周知にはもっと力を入れてほしい。

○部活動について

- ・中学校でのクラブ活動の地域移行はまだ難しいと感じる。高等学校ではまだまだ先のことになるだろう。

○働き方改革について

- ・ICT機器を使った取り組みを進めると最初は残業が増える。働き方の改革に繋がるまで先を見据えて取り組んでください。

○スクールミッション・スクールポリシーについて

- ・スクールミッションは校訓に基づいて作成され、スクールポリシーへと繋がる部分は学校経営計画と関連づけて作成されている。とても具体的に表されていると思う。

- ・スクールミッションやスクールポリシーは誰に見てもらいたいと考えているのか。特に中学生が読んで理解できるようにする必要があるのではないかと。

〔第3回 2月 15日〕

○キャリア教育について

- ・進路目標を詳しく書いているのはなぜか。学習到達ゾーンを全体的に上げる方が先ではないか。夢を実現するという点では進学だけでなく就職も含まれる。どんなことを学んでどんな人間になりたいかを考え育てていくことのできる学校であることが大事だと考える。

○生徒指導について

- ・教員への新指標として「私はルールやマナーの指導について、違反の現場に遭遇した際は学年を問わず声かけを行い、その都度注意し指導している」とあるが、具体的に教員に対して研修などをするのか。違反に対して指導することに関する研修は生徒を納得させる指導の研修である必要がある。そのような研修を積み重ねないと、できない人はずっとできないままである。

- ・現在の校則について、生徒の気持ちと乖離していないか。

○組織運営について

- ・リーダーのマネジメント能力の向上について、職員会議の前段階の各種会議を機能させるとあるが、本来PDCAサイクルは分掌などのリーダーが回さないといけない。向上させるべきはまさにその能力のことである。

- ・長時間勤務を減らすためには面談、声かけだけでは減らない。ICTを活用した更なる業務の効率化を進めるべきである。

○学校教育自己診断結果について

- ・部活動の活性化については生徒指導部会などで話しをすべきではないか。「学校の整理整頓」については何がだめなのかを教員に聞いてみることも大事ではないか。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値]	自己評価
1 学力・夢を実現する教育活動	<p>(1) 観点別評価授業とICT機器を活用した授業の推進による授業満足度の向上</p> <p>(2) 探究的な教育活動と体系的なキャリア教育の推進及び高大連携を利用した授業・講座の推進</p> <p>(3) 進学希望者の講習等を充実させ、進路実現の満足度の向上</p> <p>(4) 英検や様々な検定試験を実施し進路意識の向上</p>	<p>ア 定期的な相互授業見学及び授業力向上の研修を実施する。</p> <p>イ 各教科で毎学期に探究的な活動を実施し、教員研修を行う。LHR、「総合的な探究の時間」等において進路や生き方について考える探究的な学習活動を行い、早期に、生徒の確かな進路目標決定と意識醸成に取り組む。</p> <p>・高大連携制度を利用した授業や講座を行い、生徒の進路意識を向上させる。</p> <p>ウ 進路指導部を中心に講習・補習を実施する。各種外部模試を実施する。</p> <p>エ 英検受験を推奨し英語教育の推進を図るとともに、各種検定を実施し、生徒の進路意識の醸成を図る。</p>	<p>ア 相互授業見学や1人1台端末活用等の研究授業を実施し、生徒「授業アンケート生徒肯定意識」を3.2以上。[3.2]</p> <p>イ 探究的な活動の教員研修を実施する、年2回[新]。進路や生き方を考える機会の満足度80%以上を維持する。[80.4%]</p> <p>・連携大学との高大連携による取組みを推進し、講座・授業を実施する。年6回[新]</p> <p>ウ 検定対策講座や進学講習等の学習を提供する。希望者対象の外部模試の受験者を前年度より増とする。[313人]</p> <p>エ 英検、数検、漢検等の各種検定を実施し前年度より増とする。[152人]</p>	<p>ア 年2回の相互授業参観の機会を設けた。2回目は23名(51%)の教員が参加。(○)</p> <p>1人1台端末活用のための教員研修を「フォーム作成ツールの活用」をテーマに実施。(○)</p> <p>「授業アンケート生徒肯定意識」1回目3.3 2回目3.4 (◎)</p> <p>イ 外部講師によるオンライン研修と本校教員による集合研修を実施。(○)</p> <p>満足度84.7%(◎)</p> <p>・連携大学と9講座開設予定であったが、定員に達せず、1講座の開講にとどまった。(△)</p> <p>ウ 3年138人 2年68人 1年38人 計244人(△)</p> <p>エ 英検80人、数検9人 漢検29人、計118人(△)</p>
2 保護者・地域から信頼される学校づくり	<p>(1) 生徒の規範意識を高め、学校生活に主体的に取り組む姿勢を醸成</p> <p>(2) 支援体制、教育相談体制の充実</p> <p>(3) 地域と連携した特別活動等を通じた生徒の自己有用感の醸成と、集団への帰属意識の向上</p> <p>(4) 生徒の活躍の場をつくり、保護者及び地域との連携</p>	<p>ア 教員全員による生徒指導体制を推進するとともに、薬物乱用防止やSNS利用等の生徒指導講演会を実施する。</p> <p>イ 登校時のあいさつ指導で定期的な生徒会等の参加機会を設け、遅刻防止指導、制服指導、自転車マナー指導及び雨天時レインコート使用を継続する。</p> <p>ウ 要支援生徒について支援教育コーディネーター、教育相談委員会、担任、SC、SSWによる連携した支援を行う。教育相談通信発行など取組みを行う。</p> <p>エ 担当の分掌、顧問による働きかけによる地域や中学校と連携した部活動、生徒会活動を推進する。</p> <p>オ・保護者、地域への情報発信を充実する。</p> <p>・学校広報に生徒の活躍の場を設ける。</p> <p>・地域等のイベントへの生徒の参加機会を提供する。</p>	<p>ア 生徒が学校の指導規則を守る項目の高い肯定率を維持する。[94.6%]</p> <p>・生徒指導講演を4回以上実施する。[2回]</p> <p>イ 登校時遅刻を前年度より15%減少させる。[1,814件]</p> <p>・定期的な登校指導を実施。[3回]</p> <p>ウ 生徒の教育相談通信など、教育相談が身近になるように取組み、この項目における満足度を75%以上にする。[74.9%]</p> <p>エ クラス活動や学校行事参加へ積極的に参加する肯定率85%を維持する。[88.9%]</p> <p>・部活動加入率65%以上。[63%]</p> <p>オ 保護者の学校の相談満足度を73%以上ににする。[71%]</p> <p>・学校説明会等に生徒を参加させ、活躍の場を提供する。5回以上[新]</p> <p>・地域交流への生徒数50人以上する。[新規；中学訪問、地域連携等の参加数]</p>	<p>ア 肯定率96.2%(◎)</p> <p>・以下の4回を実施(○)</p> <p>①保護者向けSNS講習会 ②交通安全講習会 ③SNS講習会 ④薬物乱用防止教室</p> <p>イ 遅刻数 R4年度3056件 R3年度1515件 164%(△)</p> <p>・遅刻一斉指導を6回実施 交通安全一斉指導を3回実施(○)</p> <p>ウ 満足度87.1%(◎)</p> <p>エ 肯定率89.5%(○)</p> <p>・部活動加入率57%(△)</p> <p>オ 満足度87.3%(◎)</p> <p>・5回実施(○)</p> <p>①インテックス大阪 ②鶴見区民ホール ③キラリエホール ④オープンキャンパス ⑤12月学校説明会</p> <p>・中学校訪問1年生実施 約90名が訪問(◎)</p>

府立緑風冠高等学校

<p>3 人権尊重の教育と、「ともに学びともに育つ」教育の実践</p>	<p>(1) 共生推進教室生徒の自立支援</p> <p>(2) 地域と連携した教育活動の推進</p>	<p>ア・個別の教育支援計画に基づいた自立を支援する教育を全教員で推進する。</p> <p>・卒業後の進路実現に向けた職場実習等のキャリアガイダンスの充実、教職員対象のUD、障がい者理解教育を促進する。</p> <p>イ 教職員の人権研修（人権、教育相談等）と生徒・保護者の人権教育を推進する。</p>	<p>ア・共生推進教室3年生の進路実現100%。</p> <p>・むらの高等支援学校と生徒交流の実施と教員の相互交流研修の実施参加人数7人以上。[10人]</p> <p>・入学生を募集定員以上にする。</p> <p>イ 人権教育への取組み回数と満足度。</p> <p>・教職員対象の研修を3回実施する。</p> <p>・生徒の人権に関する肯定率80%以上を維持する。[80.4%]</p>	<p>ア 100%達成 (○)</p> <p>・むらの本校での体育祭に、共生生徒も参加。相互交流研修は11人が参加。(○)</p> <p>イ 生徒向け人権研修</p> <p>1年 アニメめぐみ視聴</p> <p>2年 車いすバスケットボールデモンストレーション・体験・講演(外部講師)</p> <p>3年 LGBTQについて講演(外部講師)</p> <p>※満足度は人権に関する肯定率に同じ。(◎)</p> <p>・12月に子どもの権利条約に関する研修を外部講師を招き野崎高校と合同で実施。ヤングケアラーの研修を2月に実施。教職員向けには2回の研修を実施した。3回の目標には届かなかったが、中身が濃く高いレベルでの情報共有ができた。(○)</p> <p>・肯定率84%(◎)</p>
<p>4 学校力の向上</p>	<p>(1) 各組織のリーダーのマネジメント能力の向上</p> <p>(2) 教師力の向上</p> <p>(3) 生徒主体の学校活動の推進と情報発信の充実</p>	<p>ア 各組織のリーダーにおける学校経営計画推進に向けたPDCAサイクルによる取り組みを推進する。</p> <p>イ 充実した教職員研修（教育相談、人権研修、支援教育等）を実施する。</p> <p>・個人情報の適正な管理を徹底する。</p> <p>・管理職等による声かけなどにより、時間外勤務者の削減に取り組む。</p> <p>ウ 生徒主体の活動を活性化し、学校通信等やホームページ・ブログ等における広報を充実する。</p>	<p>ア 学校教育自己診断における教職員の教育活動の評価と次年度への計画に関する肯定を60%以上にする。[58.3%]</p> <p>イ 校内研修(支援教育、人権等)充実や外部の研修を通じて教員力の向上を図り、教員の研修の肯定率の向上を70%以上にする。[66.7%]</p> <p>・80時間/月以上の超過勤務者を15%減少させる。[18件]</p> <p>ウ ホームページ、ブログを積極的に更新し、学校通信等の発行により、保護者の学校情報における項目の肯定率を65%以上にする。[59.2%]</p>	<p>ア 肯定率72.9%(◎)</p> <p>イ 肯定率85.4%(◎)</p> <p>・1月末時点で21件。(△)</p> <p>ウ ホームページ、ブログの更新に加え、生徒会によるSNSの運営を開始した。SNSの投稿数は73件、フォロワー数は147フォロワーである。また、保護者用アカウントを活用し、情報発信の充実化を図った。ホームページは刷新予定。修学旅行特設ブログを開設、旅行中の様子をリアルタイムで配信。校長ブログは84回更新(1月20日時点)。学校通信は各学年6回ずつ発行。(◎)</p> <p>肯定率58.9%(△)</p>